



島根大学附属図書館 年報2025

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2025



図書館長より

図書館の役割

インド工科大学ハイデラバード校（IITH）の図書館に行った時に感じたことを記す。

IITHは、23校あるインド工科大学（IIT）のひとつである。IITは、インド政府が国家の重点機関に指定し、非常に高度な実践的カリキュラムを提供している。入試難易度が高いことで有名で、数十倍から百倍、つまり合格率が1～2パーセントであるというから驚く。

私は理系の研究者で、インド人のC.V.ラマン博士の発見に由来する「ラマン分光法」という手法を利用した研究をしている。そのおかげで、気が付けばインドとのご縁が深くなった。

IITHに初めて行ったのは、本学との交流協定を締結するために訪問した2019年だった。IITHは2008年に開校している。その前年2007年に安倍晋三首相（当時）がインド訪問時にIITHの新キャンパス設計について支援することを発表し、国際協力機構（JICA）のODA支援が始まった。JICAは2014年の円借款調印後、キャンパス施設の建設と研究機器の調達をすすめて、2024年初頭までにIITHの約20棟を支援した。

私が初めてIITHを訪問した2019年には、広大な敷地にポツポツとA棟、B棟、C棟の僅か3棟の建物が建っているだけであった。その後のコロナ禍の影響もあって、再びIITHを訪問できたのは、2024年夏だった。その時には、敷地内に多数の建物や住居が林立しており非常に驚いた。その中でも、東京大学生産技術研究所の専門家により設計された6施設（ビジネス・インキュベーションセンター、国際会議場、総合研究センター、国際交流会館、学生会館、中央図書館）は、建築の専門誌にも取り上げられるほどスタイリッシュで機能的な建物である。

さて、本命の中央図書館は4階建てで、内部はすり鉢状の形状をしている。右下の写真は中央図書館の入り口で撮った。この入り口に入って真っ直ぐ進むとすり鉢の谷底中央に着く。そこには日本コーナーが設けられ、日本文化関連本、日本文学、日本語の教科書などがあった。言語は、英語が主であったが、日本語で書かれた本もあった。その場所から360度見渡すと、谷の斜面に相当するところが本棚となっており、それぞれの分野を俯瞰するような、人類の営みや知識に抱かれているような、不思議な気分になる。右上の写真は上層階から撮った写真である。少し見づらいが、紫やオレンジ色のスツールが置かれているあたりが谷底の一部である。

実は、2024年と2025年にこの図書館を訪問した際は、島根大学次世代人材育成事業「科学の宝船」の受講生である高校生と一緒にであった。高校生は、島根大学での研究成果を英語で発表し、インドの高校生と一緒にIITHのラボツアーを楽しんだ。



ところでこの図書館の正面の看板を見て欲しい。“Knowledge Resource Centre”と掲げてある。これは、知識と情報の中心となる場所という意味である。“Library”ではないのだ。“Library”という語は、本（liber：もとは「木の皮」を指す語）を保管する場所（arium）、つまり書庫という意味で、日本語の「図書館」は明治時代にこの単語の訳から作られた。現在、木の皮の内側に文字を書いて丸めた情報を一巻、二巻と数えることは無い。お正月のおせち料理の伊達巻が書物の形だから学業成就のために食べろと言われてもピンと来ない。それどころか、今や、図書館は本の貸し出しをするだけでなく、情報通信技術の発展とコロナ禍の影響により有形の本だけでなく電子書籍、電子情報の提供の割合が増えつつある。地域を支える情報拠点の役割も担い、かつ館内でグループワークをしたり講座を開催したりするなど交流の拠点としても期待されている。そう考えると、“Knowledge Resource Centre”という看板を掲げてあることが腑に落ちる。

以上、IITHの図書館で感じたことである。

島根大学附属図書館長 山本 達之



附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

理 念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目 標

1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

CONTENTS

特集

- 企画展示「手紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と地域の人びとー」に関連イベント

4

TOPICS

8

統計

- 基本統計
- 利用者
- 貸出
- 図書
- 図書館資料費
- 電子リソース
- Webサービス
- 相互協力
- 講習会／その他

19

20

21

22

23

24

26

27

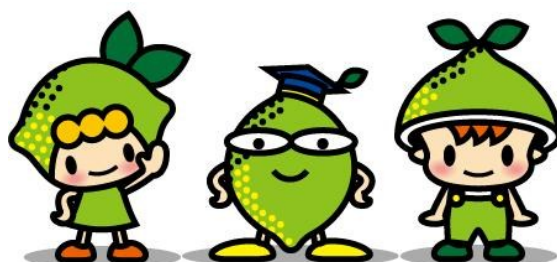
28

図書館日誌

30

その他の記録

32



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
（左から）みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん



企画展示「手紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と地域の人びとー」 と関連イベント



本企画展は、2025年度後期放映のNHK連続テレビ小説『ばけぱけ』にあわせ、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と同僚の西田千太郎、また後年ハーンの顕彰に関わった桑原羊次郎の姿を手紙（書簡）資料を中心に読み解いていくものである。

会場、デジタル双方で展示を行い、会場展示「手

紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と地域の人びとー」では複数の資料を初公開した。デジタル展示「ヘルンの心～西田千太郎への手紙～」では、当館の所蔵分だけでなく、広島大学図書館、松江市立中央図書館が所蔵している手紙も、各館の協力のもと、あわせて紹介した。

<会場展示>

「手紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と地域の人びとー」

期間：2025年10月15日（水）～12月1日（月）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学附属図書館

後援：小泉八雲記念館

協力：広島大学図書館、松江市立中央図書館、西田家、島根県立図書館、富山大学附属図書館、八雲会、常松正雄（島根大学名誉教授）、宮澤文雄（島根大学法文学部准教授）

反応：期間中來場者合計 1,331名（45日）

アンケート回答数 51名

備考：会場展示で陳列した資料の一部は、デジタル化の上、当館デジタルアーカイブで公開した。

「島根大学附属図書館デジタルアーカイブ」

<https://da.lib.shimane-u.ac.jp/content/>



デジタル展示と本学デジタルアーカイブが閲覧できるブースを設置した（写真左部分）。

<デジタル展示>

「ヘルンの心～西田千太郎への手紙～」

期間：2025年10月12日（日）～終期末定

URL：JAPAN SEARCH「ギャラリー」

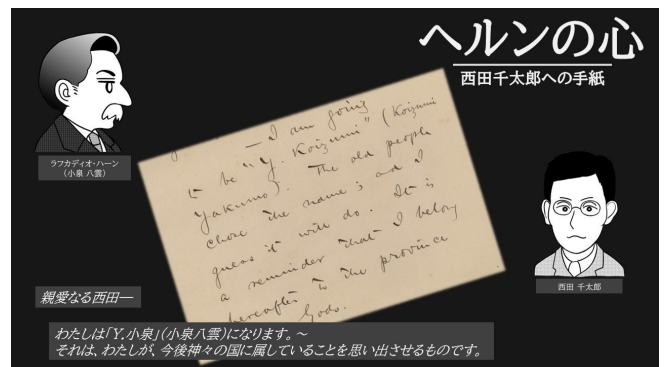
https://jpsearch.go.jp/gallery/libshimane_u-EM29jVNjwg8

作成：島根大学附属図書館

備考：当館ホームページ上の特設ページもあわせて更新した。同ページでは、ハーンの自筆書簡の画像を英語原文と日本語訳のテキストとともに紹介している。今回の更新で、当館所蔵の書簡45点に加えて、松江市立中央図書館（12点）及び広島大学図書館（15点）が所蔵する書簡が新たに閲覧可能となった。

「小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）自筆書簡 画像とテキスト」

<https://da.lib.shimane-u.ac.jp/virtual-exhibition/hearnletters/>



デジタル展示トップページ

■展示の準備と発見

企画会議で、ラフカディオ・ハーンと本学との接点（本学前身校・島根県尋常師範学校教員としての側面等）を確認し、当館所蔵のハーン関連資料やハーン在籍中から所蔵している師範学校の旧蔵書等を、初公開資料を含めて発信する方針を定めた。

以前から発信を行ってきた資料として、ハーンが英語教師として赴任した島根県尋常中学校（以下、松江中学校）の教頭・西田千太郎に宛てた約40点の自筆の書簡がある。西田はハーンの松江での生活を公私両面で支えた人物として知られており、ハーンは松江滞在時に西田と親交を深め、松江を離れた後も、西田が36歳で亡くなるまで手紙でのやり取りは続いた。残された手紙からは、西田に対する深い尊敬と信頼がうかがい知れるとともに、日常の様々な場面でのハーンの心情がよく分かるものとなっている。これらを、本学法文学部言語文化学科・宮澤文雄准教授より借用した西田家資料※とともに展示した。

一方、初公開を多く含む資料群として「桑原文庫」がある。これは、ハーンの旧居保存等に携わった桑原羊次郎の旧蔵資料群であり、その中に『松江に於ける八雲の私生活』の原稿類や書簡集『獨樂集[どくらくしゅう]』等が含まれる。桑原は、ハーンの直接の生徒ではないが、ハーンの在籍中に松江中学に在学し、ハーンが西田と行動する姿を見かけていた。また、桑原は兄・猪太郎の同級生であった西田と交友があり、『西田千太郎日記』には西田が米国留学中の桑原から写真を受け取ったとの記述がみられる。桑原は1910年に渡欧した際、海外におけるハーンの評価を知り、帰国後に岸清一とともにハーン顕彰の活動を開始した。この活動は、戦後の松江におけるラフカディオ・ハーンを軸とする観光政策にも影響を与えた。

展示準備にともなう調査の過程では、次の発見があった。

①「八雲会(第一次)」設立についての資料（『獨樂集』）

『獨樂集』は、桑原宛ての書簡（1896年～1954年）の一部を卷子11巻に仕立てた資料である。このなかから、ハーンを顕彰する「八雲会」の設立に関する書簡と、ハーンに関わる人々からの書簡が確認された。桑原によるハーン顕彰を辿る上で重要な資料と言える。

②小泉家とのやり取り（『獨樂集』『双蛙録記』）

小泉家の人々との手紙が二通確認された。一通は『獨樂集』9巻にあるハーンとセツの長男・小泉一雄からのもので、『島根県画人伝』執筆中の桑原が、『妖魔詩話』所収の絵（ハーン画の船幽霊）の転載許可を求めて快諾を得た書簡（1935年）である。二通めは『獨樂集』11巻にある三男・画家の小泉清からのもので、1950年6月開催の「小泉八雲生誕百年祭」に招かれた際に、桑原が対応したことへの礼状である。このほか、桑原の『双蛙録記[そうあろくき]』には1954年のハーン五十回忌の法要で、松江を訪れた一雄が突然訪ねてきたとの記録が見られ、桑原と小泉家の人々との交友がうかがわれる。

③『松江に於ける八雲の私生活』の成立過程（『獨樂集』『獨樂集：外國人書簡』『小泉八雲の一日』）

桑原文庫には『松江に於ける八雲の私生活』の原稿類（『小泉八雲の一日』）、出版用版下原稿などが含まれている。同書の序文を書いたエモリー・タアリーの書簡が『獨樂集：外國人書簡』に収録されている。また、版下原稿には序文の英文原稿が綴られており、1950年の出版までの経緯や編集過程を確認できる資料群であることが分かった。会場展示では、英文で書かれたタアリーの書簡、序文原稿を翻刻・翻訳して、桑原訳と思われる刊行版の序文と比較した。

④A.L.サドラーのハーン評（『獨樂集：外國人書簡』）

サドラーは著名な日本文化の研究者で、桑原は自著贈呈の礼状を『獨樂集：外國人書簡』に綴っている。この中でサドラーは、松江訪問の思い出に触れ、「小泉八雲が松江に住んで其有（優）雅な文書で出雲の国の記事と免（逸）話を書いたのはまことに幸運な事て何所の英文の読められる人でも感嘆せずにはありません」（括弧内は職員補記）と述べている。ハーンの著作に描かれた松江の姿が、とても印象的であったことが分かる。

※ 西田家資料

西田千太郎の息子にラフカディオ・ハーンが贈った図書や、西田からハーンへの手紙の下書き（写し）、西田の遺書等を含む資料群であり、宮澤准教授が、西田千太郎の子孫から寄託を受けている。宮澤准教授は、西田千太郎の旧居を守り、未来へと受け継いでいくための活動に取り組む、一般社団法人「まちなかプラン」の役員を務めている。

■展示、広報の工夫

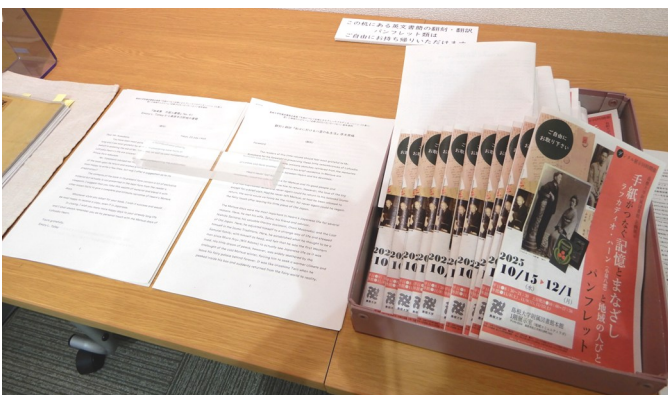
展示する資料や紹介人物に親しみをもってもらえるよう、会場展示で『獨樂集：知人書簡芳名録』等を複製し、手に取って閲覧できるようにした。また、展示パネル等で構成したパンフレットを作成したところ、来場者に好評を得て300部を配布した。

展示内容の補足と広報活動を目的として、漫画を6点作成・展示した。作画は「島大図書館おんぼろデイズ（仮）」（p.8参照）を執筆する職員、原案は展示の解説パネルを作成した職員が担当した。漫画は、パネルにして会場で展示し、会期終了後は本館3階地域資料室付近へ移設した。あわせて当館公式X（旧Twitter）とブログにも掲載した。来場者からは、漫画による解説が分かりやすかったといった感想があり、Xでは当館投稿を引用したコメントが寄せられた。

- 投稿（不定期、再掲あり）：
 - X ……2025年9月29日～11月10日 8件
 - ブログ…2025年12月10日～12月18日 8件
- Xでの反応（8件総計/2026年7月10日時点）：
 - リポスト……………127
 - いいね……………362
 - インプレッション…69,063



2025年9月29日X公開漫画「手紙がつなぐ小泉八雲と島大図書館」



手にとって閲覧できるようにした翻刻・翻訳と、配布したパンフレットの様子



作成した漫画は、ハーン等のそれぞれの年譜と並べて展示した

■関連イベント

<本館：図書展示>

「ヘルンの100冊」

「ばけばけ」放映開始により関心が高まっていることを受け、企画展より一足早く、館内にラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の関連図書約100冊を展示する特設コーナーを設けた。図書館の入口近くを目立つ場所であるため、来館者が足を止め、図書を手に取る姿がよく見られ、期間中、計63回の貸出があった。

場所：本館1階交流ゾーン 新着図書コーナー横
期間：2025年10月7日（火）～2026年2月27日（金）



<医学図書館：図書展示>

「ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）関連図書」

ハーンやその関係者の著作、そしてハーンの足跡を紹介する図書など、医学図書館所蔵資料から22冊を集めた特設コーナーを設けた。特にハーンの著作については、日本語訳と英語の原著を並べて展示した。短編集も少なくないため、ハーンの妻セツの「思い出の記」などの、特に注目してほしい短編については、どの図書に収録されているかをPOPを用いて案内した。期間中、計17回の貸出があった。

場所：医学図書館2階閲覧室 入館ゲート前
期間：2025年10月3日（金）～2026年5月13日（水）



■予算について

本企画展は、官民学26団体で組織する「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進協議会」の助成（補助金30万円）を受けて実施した。

区分	金額	内容
需用費	34,300	展示・広報用物品の購入費用
委託費	317,605	貴重資料等のデジタル化費用
合計	351,905	

■まとめ

新聞やテレビでの紹介もあり、会期中の来場者は合計で約1,300名に上った。来場者からは「本人らの直筆の手紙が見られたことに驚いた」「ドラマのシーンを思い出しながら、楽しく見ることができた」「小泉八雲とセツばかり注目されがちだが、別側面から新たなことを知れる良い展示だった」「後世に語り継がれたエピソードには、根拠となる資料

がたくさんあるのだなと感嘆した。大切に保管されていることにも感動を覚えた」「ラフカディオ・ハーンと島根大学につながりがあったことを初めて知り驚いた」等の感想が寄せられた。

当館は今後も地域の学術情報拠点として、所蔵資料を活用するとともに、学内外の組織と連携し、積極的に情報発信を行っていく予定である。

TOPICS

■APCと転換契約の動向について（2024-2025年）

近年、研究成果の共有や社会還元などを目的として、誰でも無料で論文を読むことができるオープンアクセス（OA）が世界的に進展している。多くの場合、著者が出版社に論文掲載料（APC）を支払うことで、論文をOA化できるが、1論文あたり100万円を超える場合もあり、研究者にとって大きな負担となっている。また、著者がAPCを支払った論文のみOA化できるハイブリッドジャーナルでは、大学は読者として購読料を支払う一方で、著者としてもAPCを徴収される現状がある。

【従来の購読誌（非OA誌）】

読者負担： 購読料

【ハイブリッドジャーナル】

※大学全体としては二重払いとなる

読者負担： 購読料（フルプライス。APC分値引なし）

著者負担： APC

【フルOAジャーナル】

読者負担： 購読料不要

著者負担： APC

こうした状況を背景として、購読料とAPCを一体化し、徐々にAPCの比率を高めることで、最終的に購読料不要のフルOAを実現する「転換契約（Read & Publish契約）」のモデルが広がっている。転換契約では契約額に購読料とAPCが含まれており、一定数の論文を追加負担なくOA出版できる一方、従来の購読契約と比べ、契約額が高額になる傾向がある。

本学では、2025年時点で下記の出版社と転換契約を締結しており、著者の自己負担なくOA出版枠を利用できる体制としている。

一部の出版社のOA出版枠については、年度途中で使い切ってしまう一方で、利用率が100%に達していない出版社もあるため、研究成果の公開促進に向け、今後も積極的な活用を促していきたい。

【転換契約により獲得したOA出版枠の利用率実績】

出版社	2024年	2025年
Oxford University Press	—	66%
Springer Nature	100%	100%
Wiley	—	100%
Karger	0%	10%

■企画展示「島根大学『松江キャンパス』ができるまで」を開催

本企画展では、新入生を主な対象に、本学が「開学」「教育学部キャンパスの統合」「農学部設置」などをきっかけに、どのように整備、発展してきたかをパネルで解説するとともに、同時代の松江市の変遷を写真で紹介した。あわせて、本学前身校の蔵書、大学設置に関する関係資料、学部の門札などを展示した。会期中、約470名の来場があった。

来場者アンケートでは「大学の歴史や学部の変遷などが細かい部分まで書かれていて、島根大学についての理解を深めることができた」「開学当時の写真で、松江の町並みと大学の関係がよく分かって良かった。昔の町の風情が、現在の様子と対比されていて面白かった」など、多くの感想が寄せられた。

■開催概要

期間：2025年4月2日（水）～4月29日（火）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学附属図書館

協力：松江歴史館



■平日の窓口対応開始時間の見直し（本館）

本館では、2025年4月より、職員の働き方改革及び円滑なサービス提供を行うという観点から、授業期間・定期試験期間の平日における窓口（サービスカウンター）での対応開始時間を朝8時半から9時に変更した（令和6年度第3回本館運営会議にて承認）。

8時半の開館時点では、正面玄関ドアの開錠、入退館ゲートの稼働、館内照明の点灯のみ行う。開館後30分間は、窓口は原則無人とし、グループ学習室等のチェックイン、他館から取り寄せた資料の受け渡

し、公費購入図書の受け取り、4階以上の書庫利用、利用証発行など窓口での有人対応が必要な業務は、9時からの対応となる。

前期は試行扱いとしたが、当初の見込み通り開館直後の入館者は非常に少なく、自由に利用できるエリアの使用が大半であった。変更の影響はごくわずかであったため後期からは本運用としている。引き続き利用者の皆様にはご理解とご協力をお願いしたい。

■企画展示「命の絆展～被害者も加害者も出さないまちづくり～」を開催

本企画展は、被害者支援に関する啓発と、命の重みについて考える機会を提供することを目的に開催したもので、本学での開催は7回目となる。会期中約430名の来場があった。

来場者アンケートでは、「生きていることはあたり前ではなく、毎日大切に生きなければと思った」「交通安全の重要性を再認識した」「毎年展示を見ており、その度に運転への意識を改めている。是非継続してほしい」などの感想が寄せられた。特に「等身大パネル」「遺品」「交通事故の写真」などの展示物が印象に残ったという声が多く、遺族のメッセージに心を動かされた来場者も多かった。

毎年開催している本企画展は、学生らが身近な問題として交通事故や犯罪被害を捉え直す貴重な機会となっている。

■開催概要

期間：2025年5月2日（金）～5月29日（木）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根県警察本部、島根被害者サポートセンター、江角由利子氏

共催：島根大学附属図書館



■企画展示「ハンセン病問題について正しく知ろうーハンセン病の隔離の歴史と人権を学ぶー」を開催

本企画展は、島根県が取り組んでいるハンセン病患者とその家族への支援、そして、ハンセン病についての正しい知識・理解をもってもらうことで偏見や差別をなくすための啓発活動の一環として開催したもので、会期中約430名の来場があった。

展示では解説パネルや多くの写真のほか、展示ケース内には療養所で使用されていた生活の品々なども並べられた。来場者アンケートでは、「ハンセン病という名前しか知らなかったので、大変勉強になった」「このような取組のお陰で、歴史がみつむがれていくのだと思った」「ずっと長い戦いをしてきた皆さんの歴史を、一人でも多くの人に触れてほしい」などの感想が寄せられた。国の政策により社会から疎外され、差別を受ける生活を強いられてきた歴史の中、一人の人間として精一杯生きてきた方々の言葉や想いにも向き合う貴重な機会となった。

■開催概要

期間：2025年6月3日（火）～6月26日（木）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根県健康福祉部健康推進課、島根県藤楓協会

共催：島根大学附属図書館



TOPICS

■廃棄予定図書の無償提供（本館）

本館において、除籍済みの廃棄予定図書の無償提供を3回開催した。本学の学生・教職員、一般利用者を対象に、廃棄予定図書の有効活用を図るために行っている。この度、業務の効率化と職員への負担軽減及び書庫スペースの流動化を図るため、2025年度の第2回目からは規模を縮小し、対象図書を本館1階展示室前のスペースに展示して、開館時間内ならば常時提供できるようにした。

結果として、利用者が持ち帰る冊数が増え、第1回の譲渡率は5割だったのに対し、第2回は7割、第3回は9割と増加がみられた。今後もこの提供方法が続けていく予定である。

■第1回概要

日時：2025年6月30日（月）～7月3日（木）

10：00～16：00

会場：本館3階多目的室

来場者数：239名（学生157名、教職員72名、一般利用者10名）

提供冊数：図書 約3,000冊

雑誌 約700冊（約40誌分）

■第2回概要

日時：2025年11月10日（月）～11月30日（日）

開館時間中

会場：本館1階展示室前スペース

提供冊数：図書 約2,400冊

※第2回より来場者数統計を廃止

■第3回概要

日時：2026年1月26日（月）～2月1日（日）

開館時間中

会場：本館1階展示室前スペース

提供冊数：図書 約1,000冊



（展示室前での開催となった第2回、第3回の様子）

■企画展示「戦争と平和を考える2025～戦争体験を語り継ぐモノたち～」を開催

本企画展では、当館所蔵資料を中心に、戦争と平和についての関連資料を展示した。なかでも、初公開の資料として、当館所蔵の『新憲法逐条解説』（美濃部達吉著）に挟まっていたメモを展示した。

これは、戦後GHQから出された集会・デモ禁止の指示を、当時の国家警察隊長が本学教員へ通達した内容を記したものであり、当時の社会状況を語る貴重な資料であることをパネルにて解説した。また、本学教員の戦争と平和に関する教育・研究の取り組みや、地域での取り組みについてパネル展示を行った。ほか、関連企画として戦争と平和に関するDVDのミニ上映会を4作品計6回にわたり開催した。

展示期間中は約1,100名の来場があり、企画展の参加者からは、「戦後80年の今、タイムリーな企画展だった」「平和の大切さを改めて感じる事ができた」といった感想が寄せられた。

■開催概要

期間：2025年7月8日（火）～9月25日（木）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学附属図書館

協力：雲南市永井隆記念館、安来市加納美術館、高嶋敏展氏、本学法文学部教員



■館内のレイアウト等の変更（本館）

附属図書館では、利用環境の改善や、限りある資料収蔵スペースを有効に活用するため、日常的に、館内のレイアウトや資料配置の見直しを行っている。本館において、2025年度に行った主な内容は以下の通りである。

時期	事項	内容
7月	展示室前のレイアウト変更/1F交流ゾーン	展示室への動線がよくなり気軽に展示を見られるようになったことに加え、休憩スペース、外部から団体での訪問があった場合の説明スペースなどとしても活用できるようになった。
12月	旅行ガイドの移動/1F交流ゾーン	2F交流ゾーンから1F交流ゾーンの新聞・雑誌コーナーに移動した。以前の場所は、スペース不足だった新書・文庫を置くスペースとして転用した。
3月	AVルームのレイアウト変更/2F交流ゾーン	利用状況を勘案し、同室内のオンライン会議ブースを増設（2→3）し、DVD等の視聴用ブースを減らした（4→2）。 ※オンライン会議ブースは、2024年7月の大雨による天井ボードの崩落以降、座席数を減らしていた。
	絵本の移動/2F学習ゾーン	同じエリア内の別の場所に移動した。気軽に絵本を手に取りやすいよう、展示の仕方も工夫している。



（上から展示室前、旅行ガイドコーナー、絵本コーナーの様子）

■オープンキャンパス期間に図書館コンシェルジュ企画を実施（本館）

本館では、2025年8月5日（火）～8月7日（木）に開催された2025年度オープンキャンパスにおいて、図書館コンシェルジュが高校生及び保護者を対象としたオープンキャンパス企画を実施した。

まず、イベント企画「図書館ラリー」として、スタンプラリーとクイズラリーの、難易度の異なる2種類の館内ラリーを実施した。それぞれのラリーをクリアした参加者には、景品として図書館コンシェルジュ制作のオリジナル葉やブックカバーを贈呈した（スタンプラリー完走者157名、クイズラリー完走者99名に贈呈。完走者の重複あり）。

また、「図書館の海を楽しむリラックススペース in Shimane University」と題して、来館者が一息つけるスペースを提供することを目的とし、海をモチーフにして図書館1階のmuRata Learning Commonsを装飾した。会場内には事前に現役の本学学生

から募集した高校生へのメッセージや、大学生活に関するアンケートの結果、図書館コンシェルジュが選んだ受験生にお勧めしたい本を展示した。

図書館コンシェルジュは受付も担当し、3日間合計で647名（高校生323名、保護者324名）の来館者を迎えた。



TOPICS

■館内整備日を設定（医学図書館）

医学図書館では、館内整備等のための休館日を2025年度から設けた。図書館利用を妨げない頻度として、半年に1回を目安に、前期については授業の少ない8月に1日設定した。後期については、入試対応により既に休館日があるため、これを充てることとした。なお、医学図書館では従来から休館日であっても、出雲キャンパスの学生と教職員についてはICカード認証によって入館は可能なので、図書館利用に大きな影響は生じていない。

館内整備日を設けたことで、職員一同が集合して整備作業や打ち合わせを行う機会を創出することができた。2025年度は、打ち合わせや掃除のほか、カーペットが擦り切れて穴が開いている箇所にチェアマットを張り付けたり、電源タップをスパイラルチューブで束ねて足が引っ掛からないように改善した。また学生からスタンディングディスク導入の要

望が意見箱に寄せられていたため、館内のレイアウト変更を行って設置した。



（チェアマットを追加した箇所）

■照明設備のLED改修工事

本学では全学的に照明設備のLED改修工事が順次進められている。これは2023年開催の水俣条約締約国会議の決定により、水銀使用製品である蛍光灯が2027年末までに製造と輸出入が禁止されることを受けて、本学キャンパスマスタープランなどに沿って計画されたものである。

医学図書館では、建物1～3階のうち書庫を除いた、閲覧や共用、事務スペースなどが2025年度の対象となり、2025年9月から10月にかけて工事が行われた。最大の閲覧スペースである2階閲覧室での工事は合計7日間かったが、エリアを区切って順番に利用制限をかけることで、医学図書館は休館することなく工事を進めることができた。工事後、老朽化している天井に工事の影響でひび割れた箇所が見つかったため、追加で補強も行われた。改修により全体的に一段階明るくなった印象で、しばらくはまぶしく感じるほどであった。

本館では、2026年3月に館内のキャレルデスク約30台について改修を行った。全学の計画では建物図面に示される照明設備が対象となるため、附属図書館としてはデスクや書架等に備え付けられている照明設備は別途手配が必要となる。

その他の照明設備について、今後も全学の計画と予算等に応じて改修工事を進める予定である。



（医学図書館での工事の様子）

TOPICS

■全国文化財総覧がLibrary of the Year 2025 優秀賞を受賞

当館が運営協力する、奈良文化財研究所の「全国文化財総覧」がLibrary of the Year 2025の優秀賞を受賞した。Library of the Yearは、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、NPO法人知的資源イニシアティブ（IRI）が授与している賞で、全国文化財総覧は「発掘調査報告書を始めとした文化財情報のWeb上での発信と展開」という点が高く評価された。本学が始動した「遺跡資料リポジトリ」が、本事業の前身である。その経緯などについては、当館ブログでも詳しく紹介している。



全国文化財総覧のあゆみ	
年度	できごと
2007	島根大学附属図書館で「遺跡資料リポジトリ」プロジェクト始動、NII委託事業
	奈良文化財研究所から発掘調査報告書のメタデータ等の提供
2008	中国地方5県で「遺跡資料リポジトリ」の運用開始、外部資金での電子化
2009	全国プロジェクトとなり、12府県域へ拡大（個別サーバ管理）
	全文検索への対応
2010	20府県域に拡大（NIIのクラウド併用開始）
2012	22府県域（21大学）まで拡大
2013	奈良文化財研究所と移行に向けた協議開始
2014	連携大学実務者会議でシステムの統合・移管が決定
	国立大学図書館協会賞を受賞
2015	奈良文化財研究所への移管完了、「全国遺跡報告総覧」へ規模と名称の変更
	ディスカバリーサービスとの連携開始
	CiNii Booksとの連携開始
2016	英語自動検索機能公開、イベント情報の提供開始
2017	報告書の頻出用語を可視化したワードマップを公開
	文化財報告書にDOIの付与開始
	文化庁『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について2』公開
2018	モバイル端末向けPDFの公開、引用表記の自動表示
2019	欧州考古学情報基盤ARIADNE Plusへの参画
2020	文化財動画ライブラリー、文化財論文ナビの公開
2021	Wikipedia用の引用表記の自動表示
	文化財総覧WebGISの公開
2023	全国文化財目録、文化財データリポジトリの公開
	文化財オンラインライブラリーの公開
2025	「全国文化財総覧」への名称変更
	Library of the Year 2025 優秀賞受賞

TOPICS

■館内のレイアウトの変更（医学図書館）

医学図書館では2025年9月に一部の資料と座席の配置を変更した。対象としたのは、図書コーナー3か所（参考図書、チュートリアル、看護実習）と、それらの間に配置された閲覧机3台である。該当箇所は資料のある書架と閲覧機の距離が近いことにより、複数の利用者が利用する際に互いに配慮が必要な環境となっていた。今回の変更により、それぞれの利用の動線を整理することができた。



（資料を移動し、空となった壁際の書架側に閲覧机を寄せることで、中央部に広い動線を確保した）

■中学生の職場体験受け入れ（医学図書館）

医学図書館では職場体験として、2025年9月に出雲市立第二中学校及び浜山中中学校から2名ずつ、同年10月に第三中学校から1名の生徒について、各校3日間ずつ受け入れた。当館ではコロナ禍以降の受け入れ中止に加え、2024年度に空調工事を行った関係で、実に6年ぶりの受け入れとなった。

体験内容としては、まず書架整理や閲覧機の清掃などを通じて、大学生が滞在する閲覧エリアの様子を体感し、その後、資料の受入処理や、納品書の確認、図書のラベル貼り、他大学との複写物のやり取りなどの事務室内での業務について、担当者と一緒に実践した。また出雲キャンパスの本部棟にも足を延ばし、大学内で多くの教職員が働いている様子を見学した。そして最終日には3日間の体験を通じて館内で気になった図書を紹介するPOPを作成した。POPは館内で後日展示した。



（職員の説明を受ける中学生2名）

■令和7年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議を開催

令和7年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議が附属図書館本館にて開催され、中国四国地区の国立大学図書館から15名の参加があった。

事前に設定したテーマ「利用者対応とリスクマネジメント」について、各館の近年の状況や課題、実際の事例等について、情報交換するとともに、より良いサービス提供のために必要な方策等について協議を行った。

■開催概要

日時：2025年11月28日（金）13：30～17：00

場所：本館3階多目的室

TOPICS

■廃棄予定図書の無償提供（医学図書館）

医学図書館において、除籍済みの廃棄予定図書の無償提供会を開催した。この会は本学の学生・教職員、一般利用者を対象に、廃棄予定図書の有効活用を図るために行っており、医学図書館では2年ぶりの開催となった。提供図書の内訳は、約7割が一般図書、3割が医学・看護学系図書という構成で、医学・看護学系図書は半数以上が持ち帰られるなど好評であった。

■概要

日時：2025年12月2日（火）～12月4日（木）
9：00～16：00
会場：医学図書館3階自由閲覧室
来場者数：137名（入室数記録装置の数値を参照）
提供冊数：図書 約2,200冊
雑誌 約300冊



■企画展示「水俣病公式確認から70年を考える」を開催

本企画展は、公害病・環境問題の原点としても知られる水俣病について、公式確認70年を機に改めて考えてもらうことを目的に開催した。一般財団法人水俣病センター相思社と水俣病歴史考証館作成の解説パネルを展示したほか、館内では関連図書の展示も行い、会期中は約430名の来場があった。

来場者アンケートでは、「水俣病の歴史を知ることができて良かった」「あまり知らない一般市民でもよく理解できた」「患者の方が今も差別を受けていることにおどろいた」などの声が寄せられ、今なおその症状や差別に苦しむ方がいることなど、現在も続くこの問題について理解を深める貴重な機会となった。

■開催概要

期間：2025年12月15日（月）～2026年1月15日（木）
会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）
主催：わ・わ・わの会（和・輪・羽の会）
共催：島根大学附属図書館

**水俣病公式確認から
70年を考える**
— 水俣病センター相思社 パネル展 — 入場無料

2025 12/15(月) ▶ 2026 1/15(木)
平日8:30～21:30 土日祝10:00～17:30
(詳細は図書館HPでご確認ください)

会場：島根大学（松江キャンパス）附属図書館 1F展示室
主催：わ・わ・わの会（和・輪・羽の会） 共催：島根大学附属図書館

「水俣病」って、ずっと昔の終わった話、と思いませんか？
2025年は、水俣病公式確認から70年となります。今でもその症状や差別に苦しむ患者さんたちのことを知ってください。

永野三智さん 講演会
(水俣病センター相思社 事務理事)
1月25日(日)14時～16時半
会場：松江市市民活動センター201研修室
(松江市民会館本館)
資料代：一般300円、
学生・高齢者・障害者半額150円、小学生・2歳以下は無料

水俣から望む平和な海の未来

TOPICS

■企画展示「中国四国の国立公園展～アクティブ・レンジャーが伝える自然と活動～」を開催

日本を代表する自然の風景地・国立公園。そして沢山の生き物が生息する国指定鳥獣保護区。この自然を守り後世に伝えていくため、動植物の保護や施設の管理、ふれあい行事の実施などを行っているのが、自然保護官（レンジャー）とその補佐役アクティブ・レンジャーである。

本企画展では、アクティブ・レンジャーが出会った中国四国地方の国立公園（大山隠岐国立公園、瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園）について、その雄大な風景や生き物等を写真で紹介するとともに、自然保護の様々な取り組みをパネルで紹介した。地域の新聞やケーブルテレビでも報道され、会期中は約510名の来場があった。

■開催概要

期間：2026年1月20日（火）～2月19日（木）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：環境省中国四国地方環境事務所

共催：島根大学附属図書館



■島根県東部を震源とする地震への対応

2026年1月6日（火）10時18分頃に島根県東部を震源とする地震が発生し、松江市では震度5強、出雲市では震度4が観測された。松江キャンパスにある本館と、出雲キャンパスにある医学図書館ともに、人や建物に対する大きな被害はなかった。地震発生後すぐに同規模の余震があり、両館とも当日から1月7日（水）まで臨時休館とし、避難と点検を行った。その後1月13日（火）までの約1週間は、平日は短縮開館、土日祝は臨時休館とし、更なる余震に備えた。

本館では、館内の利用者に呼びかけて館外の指定箇所へ避難した。建物の安全確認後には、複数箇所の書架からの図書の落下（合計約300冊）や、書架の側板の脱落、壁面のひび割れ、空調のエラー、水道・トイレの断水などを確認した。その後の平日短縮開館は19時までとし、17時以降も安全のために学生アルバイトではなく職員が勤務した。



（松江キャンパスでの一次避難の様子）

医学図書館では、館内の利用者に館外への退避を指示した。図書の落下はなかったが、書架から突き出している箇所が複数あった。平日の短縮開館は17時までとし、1月14日（水）朝までの開館時間外特別利用（24時間利用）も中止した。

図書館内での地震において特に注意が必要な点は、図書等の落下である。災害時に図書館利用者や所蔵資料を守れるよう、日頃からの対策を一層心がけたい。



（地震のときは、図書が頭上から降ってくるので注意）

TOPICS

■企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」を開催

本企画展では、法文学部の学生が授業で調査した島根にゆかりのある文学者たちを、解説パネルと関連資料で紹介した。4月には、法文学部の新入生などを対象に、展示を担当した学生たちによるギャラリートークを開催し、千家尊孫、小泉八雲、原石鼎、桑原視草、伊藤佐喜雄らの事績を丁寧に解説し、島根と文学のつながりの深さ、そこに生み出された文化の豊かさを伝えた。聴講した1年生も熱心に聞き入り、先輩の学修成果だけでなく、学び方やその姿勢にも触れることができる有意義な機会となった。

会期中は、約770名の来場があり、来場者アンケートでは、「知らなかった県内の文学者を知ることが出来た。挙げられた作品を読みたいと思った」「桑原視草氏の略歴も丁寧に展示してあり、苦難の中でもくじけず執筆を続けた姿に感銘を受けた」などの感想も寄せられた。

■開催概要

期間：2026年3月6日（金）～4月26日（日）

ギャラリートーク：4月16日（木）、4月23日（木）
※各日2回実施

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学法文学部言語文化学科、島根大学法文学部山陰研究センター、島根大学附属図書館



（ギャラリートークの様子）

統計

■基本統計：2025年度データ

			本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合計
開館日数	平日		225	233	
	土・日・祝日		57	82	
	合 計		282	315	
利用対象者数	教職員		3,664		3,664
	学生		5,068	1,126	6,194
	学外者		513	52	565
	合 計				10,423
入館者数	学生		202,592	91,603	294,195
	教職員		9,995	6,572	16,567
	学外者		6,016	539	6,555
	合 計		218,603	98,714	317,317
貸出冊数	学生		33,475	3,882	37,357
	教職員		5,882	1,718	7,600
	学外者		3,893	148	4,041
	合 計		43,250	5,748	48,998
蔵書冊数 *1	和漢書		692,082	75,042	767,124
	洋 書		155,317	66,026	221,343
	合 計		847,399	141,068	988,467
図書受入冊数 *1	和漢書	購入	4,215	888	5,103
		製本	0	68	68
		寄贈	898	69	967
		再受入	52	0	52
		計	5,165	1,025	6,190
	洋書	購入	237	58	295
		製本	0	16	16
		寄贈	69	33	102
		再受入	9	0	9
		計	315	107	422
	合 計		5,480	1,132	6,612
資料費 (千円)	図書		17,557	5,825	23,382
	雑誌		2,548	2,858	5,406
	小計		20,105	8,683	28,788
	データベース		6,154		6,154
	電子ジャーナル経費 *2		94,826		94,826
	合 計				129,768
文献複写件数	受付		544	505	1,048
	依頼		873	301	1,174
現物貸借件数	受付		458	32	490
	依頼		402	28	430

*1 研究室の資料を含む。

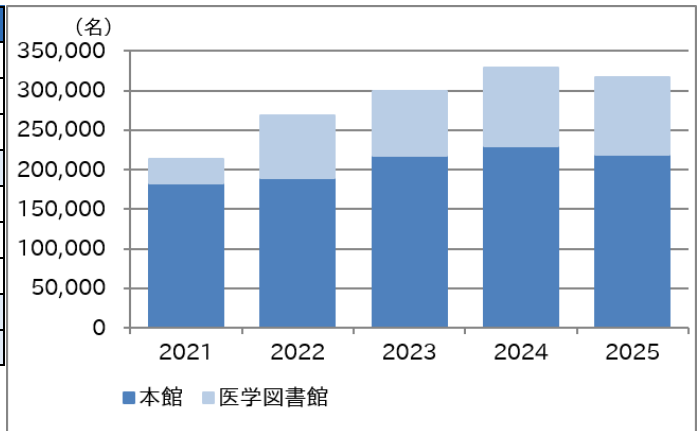
*2 学術情報基盤整備計画にかかる全学共通経費相当分。

統計

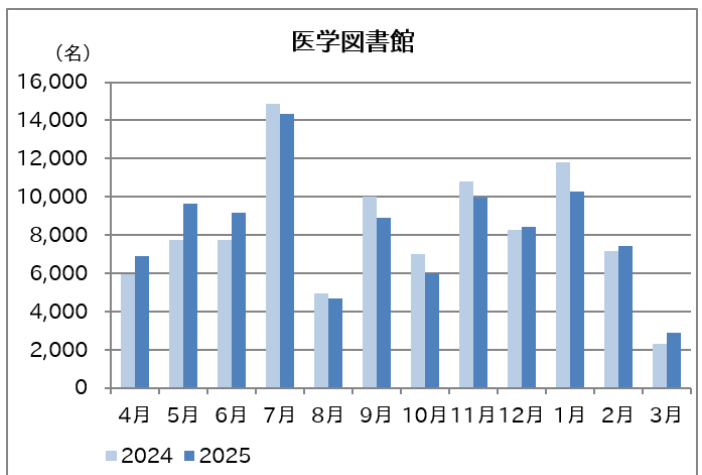
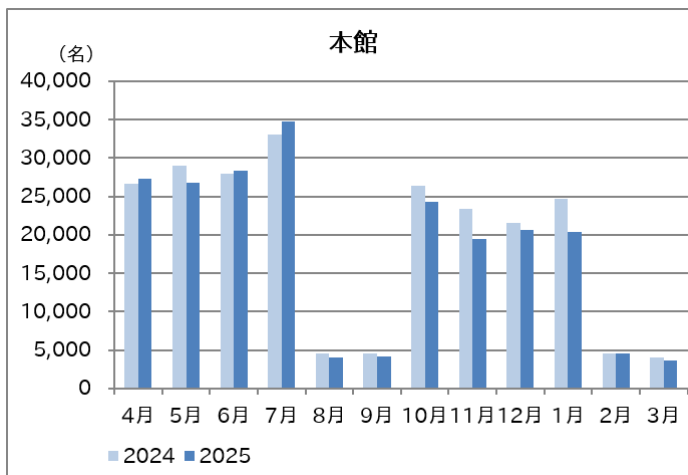
利用者

入館者数

		2021	2022	2023	2024	2025
本館	学生	169,163	176,091	200,089	213,634	202,592
	教職員	9,513	9,994	10,045	9,671	9,995
	学外者	3,810	3,642	7,091	6,974	6,016
	小計	182,486	189,727	217,225	230,279	218,603
医学図書館	学生	26,091	71,925	76,331	90,623	91,603
	教職員	5,644	6,434	6,352	7,371	6,572
	学外者	66	113	156	663	539
	小計	31,801	78,472	82,839	98,657	98,714
合計		214,287	268,199	300,064	328,936	317,317



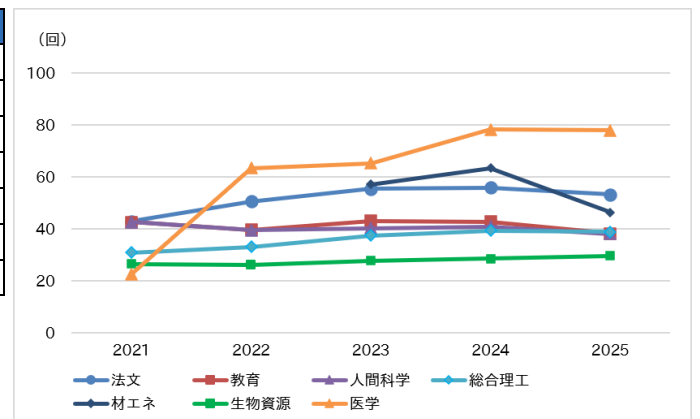
月別入館者数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2024	26,655	28,984	27,972	33,076	4,577	4,511	26,327	23,351	21,539	24,734	4,579	3,974
	2025	27,302	26,796	28,406	34,816	4,046	4,211	24,291	19,447	20,657	20,390	4,558	3,683
医学図書館	2024	5,980	7,745	7,758	14,857	4,952	10,005	6,993	10,798	8,280	11,793	7,185	2,311
	2025	6,908	9,641	9,199	14,341	4,678	8,900	6,009	9,982	8,461	10,266	7,432	2,897

学生1人あたりの年間平均来館回数

学部	2021	2022	2023	2024	2025
法文	42.98	50.63	55.49	55.86	53.24
教育	42.66	39.73	43.19	42.75	38.25
人間科学	42.63	39.46	40.28	40.89	38.08
総合理工	30.88	33.14	37.48	39.31	38.94
材エネ	-	-	57.21	63.49	46.34
生物資源	26.52	26.13	27.90	28.56	29.72
医学	22.70	63.36	65.30	78.28	77.86



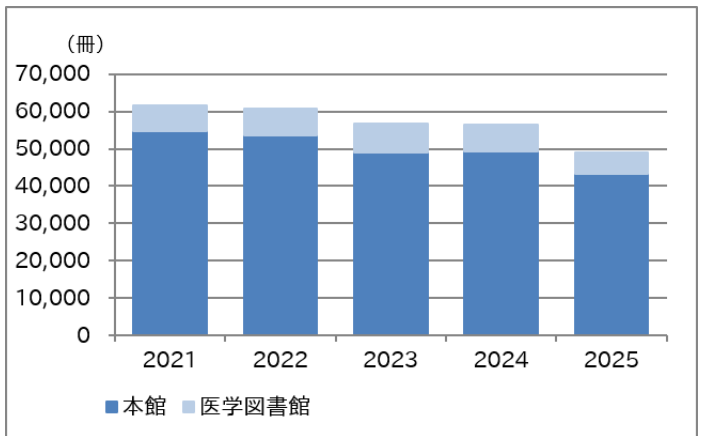
統計

貸出

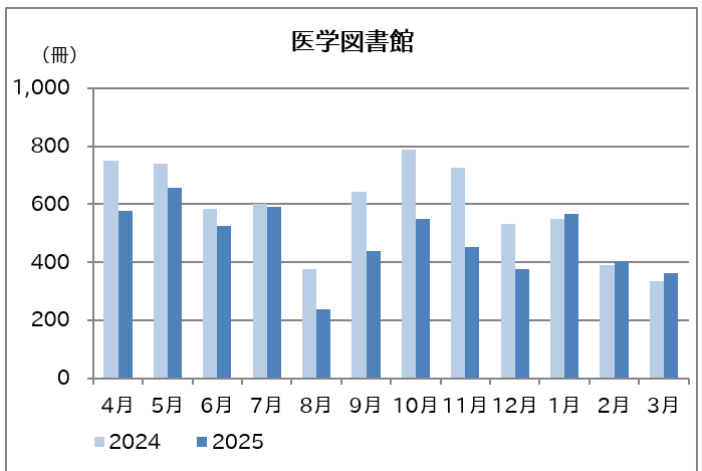
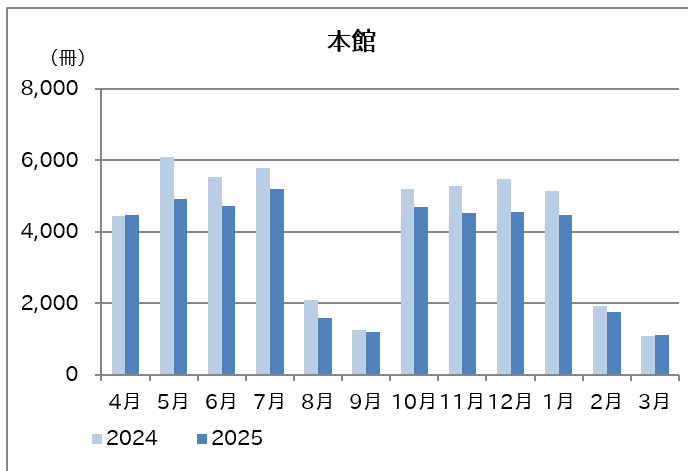
貸出冊数

		2021	2022	2023	2024	2025
本館	学生	46,085	45,216	40,215	39,249	33,475
	教職員	5,477	5,660	5,132	5,967	5,882
	学外者	3,043	2,716	3,767	4,104	3,893
	小計	54,605	53,592	49,114	49,320	43,250
医学図書館	学生	5,090	5,563	5,271	4,903	3,882
	教職員	1,998	1,535	2,090	1,991	1,718
	学外者	32	118	231	121	148
	小計	7,120	7,216	7,592	7,015	5,748
合計		61,725	60,808	56,706	56,335	48,998

※ 延長貸出も回数としてカウントしている。



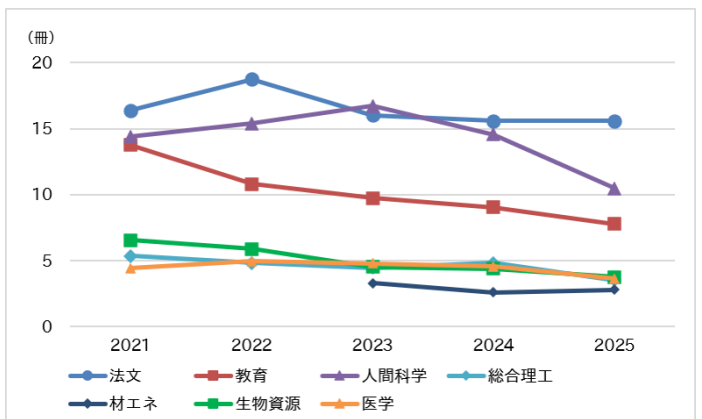
月別貸出冊数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2024	4,432	6,092	5,527	5,791	2,086	1,272	5,197	5,282	5,478	5,150	1,919	1,094
	2025	4,487	4,915	4,729	5,209	1,599	1,196	4,691	4,518	4,557	4,466	1,756	1,127
医学図書館	2024	749	741	585	601	375	642	788	725	533	550	392	334
	2025	578	657	524	592	238	438	551	454	378	568	406	364

学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2021	2022	2023	2024	2025
法文	16.39	18.74	16.04	15.58	15.59
教育	13.76	10.82	9.73	9.06	7.77
人間科学	14.38	15.39	16.73	14.55	10.48
総合理工	5.36	4.81	4.47	4.81	3.53
材工ネ	-	-	3.30	2.59	2.80
生物資源	6.55	5.88	4.53	4.40	3.76
医学	4.41	4.95	4.80	4.55	3.62



統計

図書

蔵書冊数（分類別）

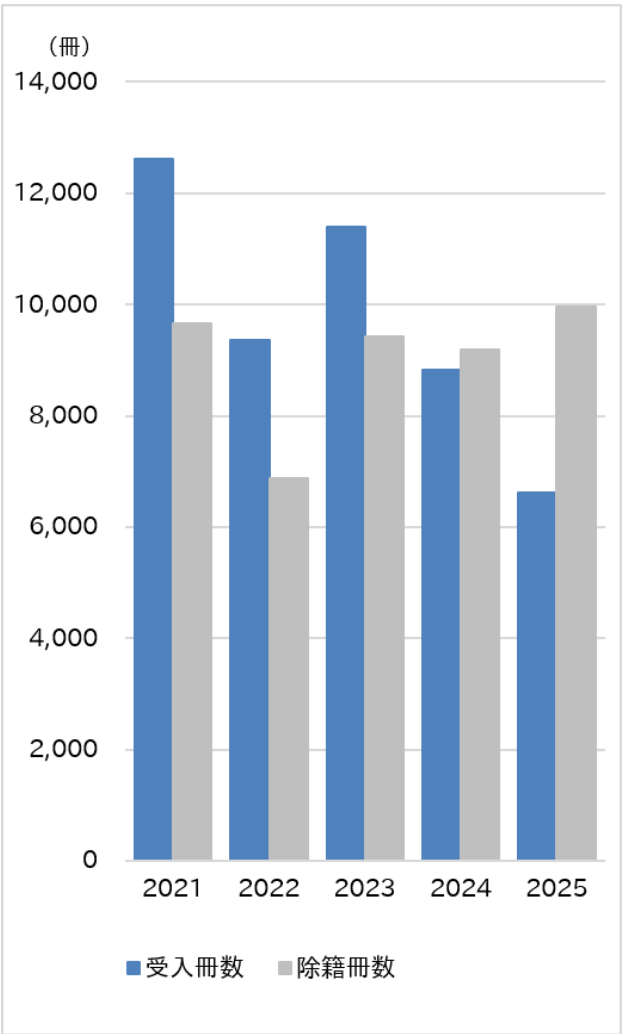
分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	95,307	11,352	106,659	690	333	1,023	107,682
100 哲学	40,942	9,367	50,309	977	662	1,639	51,948
200 歴史	88,636	7,346	95,982	944	1,293	2,237	98,219
300 社会科学	169,234	27,244	196,478	1,790	529	2,319	198,797
400 自然科学	59,652	25,481	85,133	3,159	677	3,836	88,969
500 技術・工学	32,312	3,088	35,400	384	29	413	35,813
600 産業	35,623	3,356	38,979	177	23	200	39,179
700 芸術	29,886	4,721	34,607	537	129	666	35,273
800 語学	24,980	9,633	34,613	982	977	1,959	36,572
900 文学	72,562	18,387	90,949	1,540	1,484	3,024	93,973
医学専門	1	0	1	42,254	9,074	51,328	51,329
製本雑誌	42,947	35,342	78,289	21,608	50,816	72,424	150,713
合計	692,082	155,317	847,399	75,042	66,026	141,068	988,467

※ 2026年3月31日現在の数字。ただし、データ抽出は2026年5月14日のため冊数内訳に若干数の変更がある。

※ 視聴覚資料を含む。

受入冊数

			2021	2022	2023	2024	2025
本館	和漢書	購入	6,323	4,845	4,822	5,053	4,215
		製本雑誌	201	181	173	0	0
		寄贈	2,949	2,172	3,883	1,888	898
		再受入	148	97	306	194	52
		計	9,621	7,295	9,184	7,135	5,165
	洋書	購入	359	296	145	174	237
		製本雑誌	0	0	0	0	0
		寄贈	535	184	255	104	69
		再受入	7	5	46	6	9
		計	901	485	446	284	315
	小計		10,522	7,780	9,630	7,419	5,480
医学図書館	和漢書	購入	1,292	1,052	830	936	888
		製本雑誌	299	261	248	74	68
		寄贈	140	114	72	80	69
		再受入	1	0	10	8	0
		計	1,732	1,427	1,160	1,098	1,025
	洋書	購入	190	67	49	46	58
		製本雑誌	24	15	17	16	16
		寄贈	7	2	62	31	33
		再受入	145	78	478	206	0
		計	366	162	606	299	107
	小計		2,098	1,589	1,766	1,397	1,132
	合計		12,620	9,369	11,396	8,816	6,612
除籍冊数		9,669	6,879	9,428	9,183	9,961	
所蔵総数		987,725	990,215	992,183	991,816	988,467	



統計

■図書館資料費

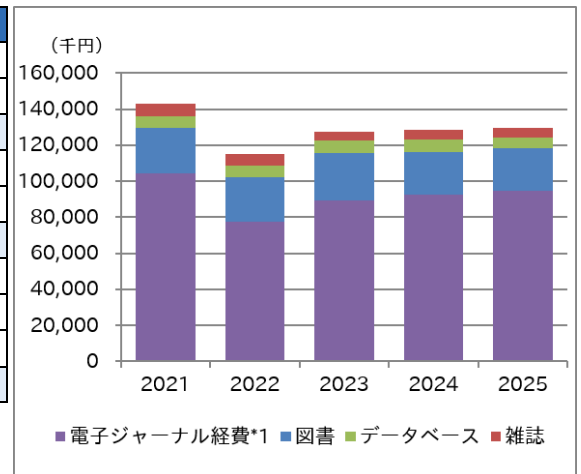
■図書館資料費の推移

(単位：千円)

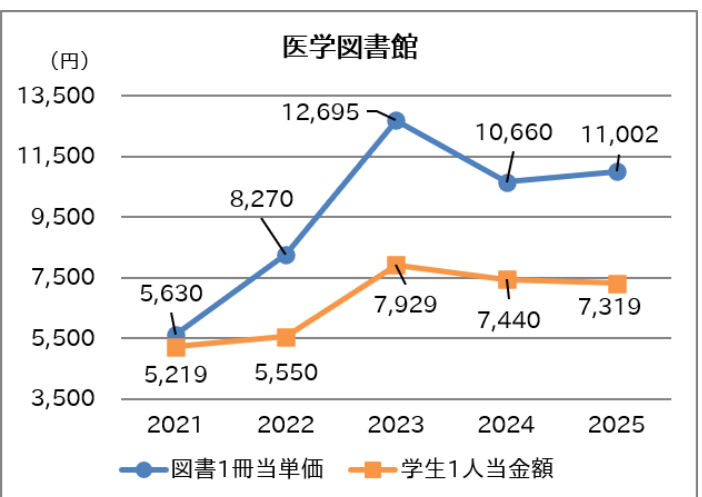
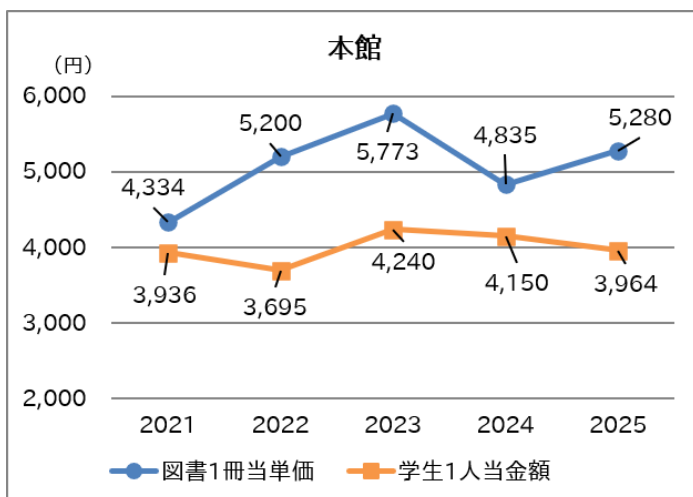
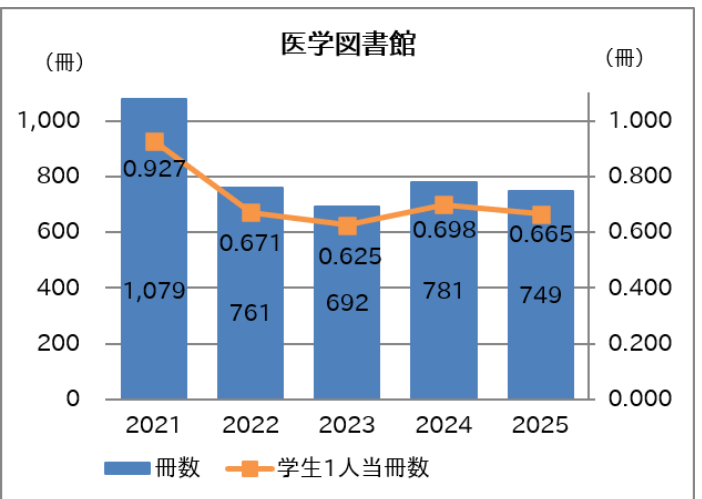
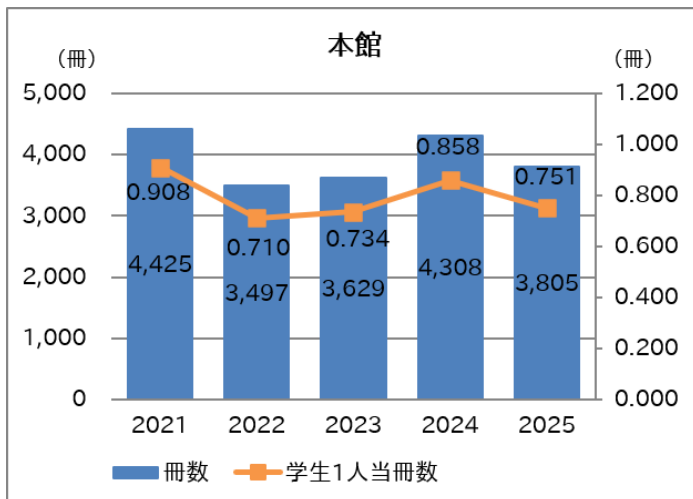
		2021	2022	2023	2024	2025
本館	図書	19,178	18,185	20,950	18,273	17,557
	雑誌	3,899	3,364	2,475	2,602	2,548
	小計	23,077	21,549	23,425	20,875	20,105
医学図書館	図書	6,075	6,294	5,570	5,600	5,825
	雑誌	2,875	2,991	2,516	3,051	2,858
	小計	8,950	9,285	8,086	8,651	8,683
データベース		6,549	6,551	6,630	6,770	6,154
電子ジャーナル経費*1		104,469	77,733	89,254	92,511	94,826
電子ジャーナル（戦略*2）		2,882	0	0	0	0
合計		145,927	115,118	127,395	128,807	129,768

*1 学術情報基盤整備計画にかかる経費相当分

*2 戦略的機能強化推進経費分



■学生用図書費



統計

■電子ジャーナル

■主要電子ジャーナルの利用状況（ダウンロード数）

	2021	2022	2023	2024	2025
ACS All Pubs Package	-	30,393	35,628	35,960	30,541
Elsevier社タイトル	180,182	127,464	44,480	37,199	39,334
（うち前払トランザクション）	-	3,268	9,468	5,846	4,851
JSTOR *1	1,199	756	1,276	5,514	5,918
Oxford	-	14,982	17,883	14,859	11,301
Nature	6,081	6,417	7,044	5,939	5,416
PNAS	3,196	2,631	2,753	2,465	2,973
Science	3,395	2,891	2,710	2,953	3,640
SpringerLink	51,004	64,701	64,445	66,799	56,556
Wiley Online Library	64,218	67,962	59,527	56,443	56,581
メディカルオンライン *2	39,305	33,508	33,289	29,557	25,906

※ 当該年の1月～12月で集計している。

※ 2025年から統計基準が変わったことで、パッケージによってはダウンロード数が大幅に減っている。

*1 2023年まではArts & Sciences Collection I, Health & General Sciences Collectionのみ

*2 電子ブックのダウンロード数も含む。

■電子ジャーナル契約タイトル数

	和洋	2025
（全学共通経費等） 電子ジャーナル経費	ACS All Pubs Package	洋 69
	Cancer cell	洋 1
	JSTOR	洋 2,892
	The Lancet	洋 1
	Nature	洋 1
	Oxford Online	洋 373
	PNAS	洋 1
	Science	洋 1
	SpringerLink	洋 2,190
	Wiley Online Library	洋 1,326
	小計	6,855
（図書館含む） 部局経費	Karger	洋 57
	Lippincott (LWW)	洋 75
	その他個別タイトル	洋 30
	メディカルオンライン	和 1,593
	その他個別タイトル	和 2
	小計	1,757
タイトル数 合計		8,612

■データベース

■学術データベースの利用状況

データベース名称	カテゴリ	2021	2022	2023	2024	2025	備考
CINAHL *1	看護学英語文献	518	805	579	484	-	1-12月／検索回数
CAS SciFinder	化学分野文献	-	-	8,245	14,646	16,201	4-3月／検索回数
Westlaw Japan	法学文献・判例	1,155	757	665	578	610	4-3月／ログイン回数
MathSciNet	数学文献	-	12,160	11,898	8,334	13,190	1-12月／検索回数
Web of Science	全分野英語文献	31,413	38,877	33,810	34,545	38,361	1-12月／検索回数
InCites Journal & Highly Cited Data	学術雑誌評価ツール	4,015	3,338	3,907	3,414	4,220	1-12月／検索回数
EBSCO Discovery Service *1	横断検索ツール	8214	7,623	6,620	6,315	-	1-12月／検索回数
朝日新聞クロスサーチ	新聞	2,582	3,095	2,212	1,916	1,763	4-3月／ログイン回数
医学中央雑誌Web	医学・看護学文献	84,354	60,919	53,149	52,141	41,655	4-3月／検索回数
化学書資料館	化学参考図書	2,335	1,533	2,833	1,467	3,346	4-3月／アクセス数
今日の診療Web	診療情報	1,909	1,504	841	899	424	1-12月／ログイン回数
最新看護索引Web	医学・看護学文献	30,649	649	1,116	1,163	871	4-3月／ログイン回数
ジャパンナレッジ	各種参考図書等	64,578	53,561	57,093	54,364	58,001	4-3月／検索回数
日経テレコン21	新聞	14,537	5,893	7,322	6,911	8,464	4-3月／本文利用件数
ヨミダス歴史館	新聞	4,673	5,640	4,520	2,548	2,747	4-3月／検索回数
ルーラル電子図書館	農学参考図書	1,999	2,975	683	722	545	4-3月／記事閲覧回数
和歌・連歌ライブラリー	和歌・連歌	1,686	657	649	1,041	1,576	4-3月／ログイン回数

*1 2025年より契約中止

統計

■電子ブック

■電子ブックの利用状況（閲覧回数）

プラットフォーム	2021	2022	2023	2024	2025
EBSCOhost eBook Collection	387	292	389	303	1,525
KinoDen	99	120	237	316	699
Maruzen eBook Library	1,101	737	1,049	1,631	1,550
ProQuest Ebook Central	43	57	52	49	33
Springer eBooks	4,486	2,896	1,049	664	4,627

※当該年の1月～12月で集計している。

※統計が入手できたプラットフォーム・期間のみ掲載。

■電子ブック契約タイトル数

プラットフォーム	和	洋	合計
EBSCOhost eBook Collection	511	238	749
Elsevier ScienceDirect	0	16	16
KinoDen	726	0	726
Maruzen eBook Library	2,091	470	2,561
メディカルオンライン・イーブックス	241	0	241
ProQuest Ebook Central	0	242	242
Springer eBooks	0	16,117	16,117
Ovid ebook	0	4	4
タイトル数合計	3,569	17,087	20,656

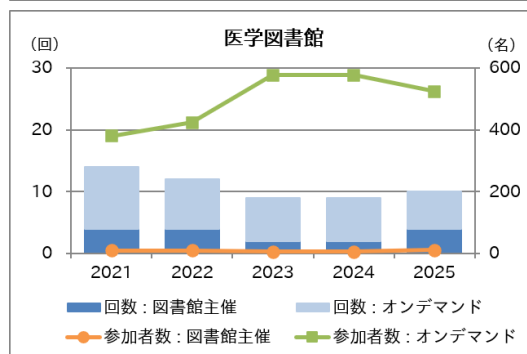
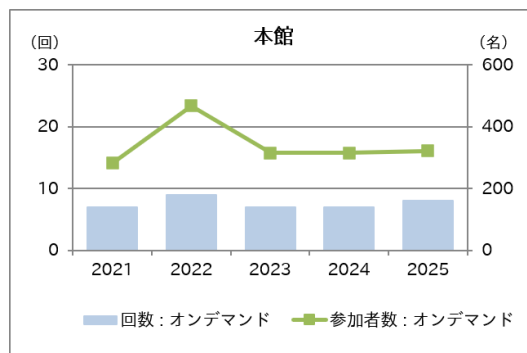
※2026年3月31日時点の累積。買い切り分のみ（年間購読型は含まない）

■講習会

■学術情報リテラシー講習会

			2021	2022	2023	2024	2025
本館	オンデマンド*1	回数	7	9	7	7	8
		参加者数	282	468	315	315	322
医学 図書館	図書館主催	回数	4	4	2	2	4
		参加者数	10	10	5	5	11
	オンデマンド*1	回数	10	8	7	7	6
		参加者数	380	424	577	577	524
参加総数			672	902	897	897	857

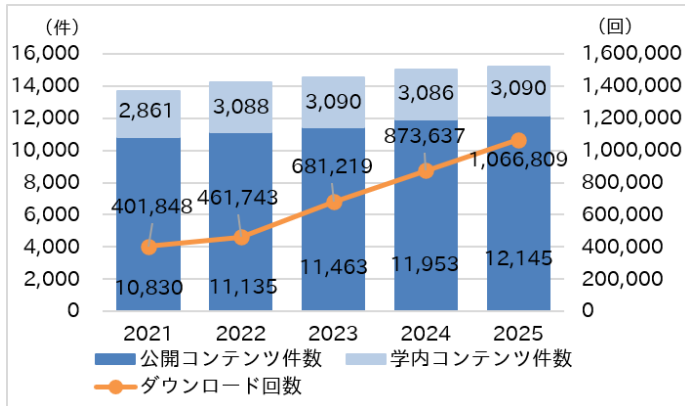
*1 オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す。



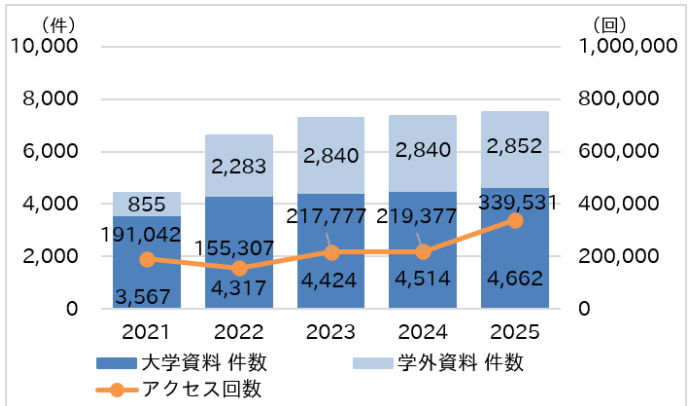
統計

Webサービス

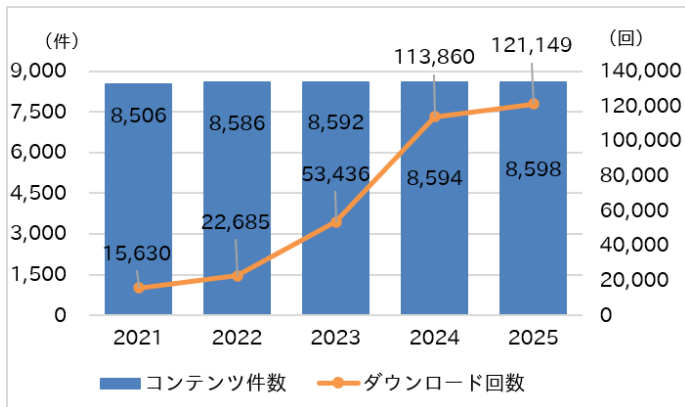
■島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)



■デジタルアーカイブ



■しまね地域資料リポジトリ (GO-GURa)



■本館の『館内施設利用予約』 (Web予約システム)

部屋名	総利用時間*1	総開室時間	稼働率[%]*2
グループ学習室1	1,186時間51分	3,087時間	38.45
グループ学習室2	1,067時間29分	3,087時間	34.58
研究個室1 *3	708時間16分	2,647時間	26.76
研究個室2 *3	524時間15分	2,647時間	19.81
研究個室3 *3	631時間43分	2,647時間	23.87
研究個室4 *3	427時間39分	2,647時間	16.16
研究個室5 *3	494時間21分	2,647時間	18.68
オンライン会議ブース1 *4	3時間27分	96時間	3.59
オンライン会議ブース2	341時間9分	3,087時間	11.05
オンライン会議ブース3	262時間50分	3,087時間	8.51

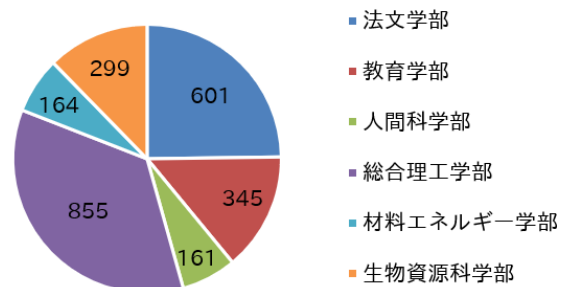
*1 総利用時間とは、館内施設を実際に利用した時間を蓄積したもの

*2 稼働率とは、総利用時間を総開室時間で除算したもの

*3 研究個室は、2025年8月8日～9月24日と2026年2月2日～3月25日の期間、利用を停止していた（節電対策のため）

*4 オンライン会議ブース1は、2024年7月9日～2026年3月12日の期間、利用を停止していた（雨漏りによる補修のため）

館内施設の利用回数

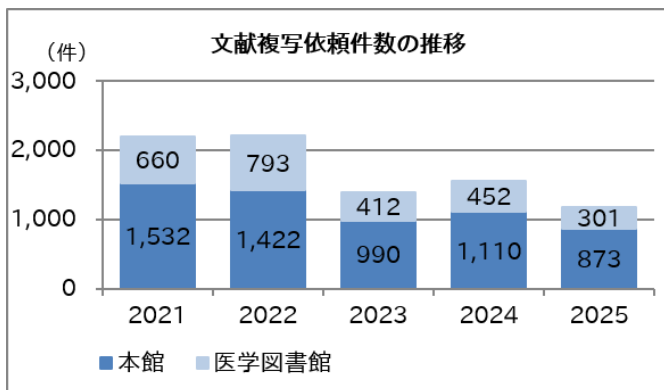
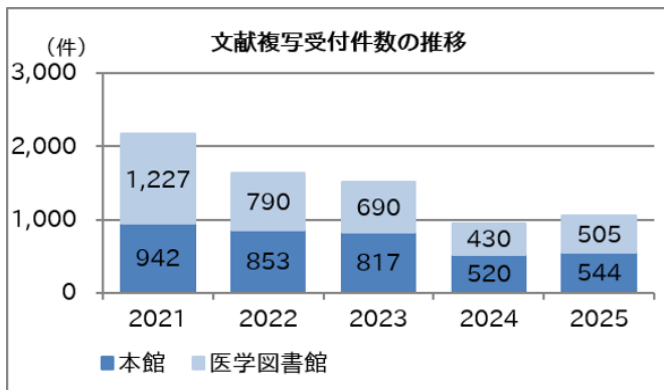


統計

■相互協力

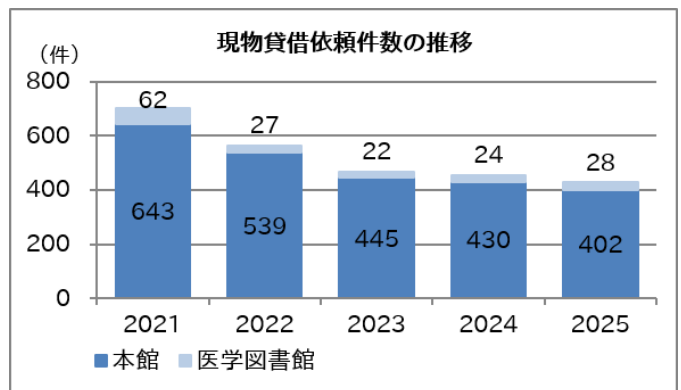
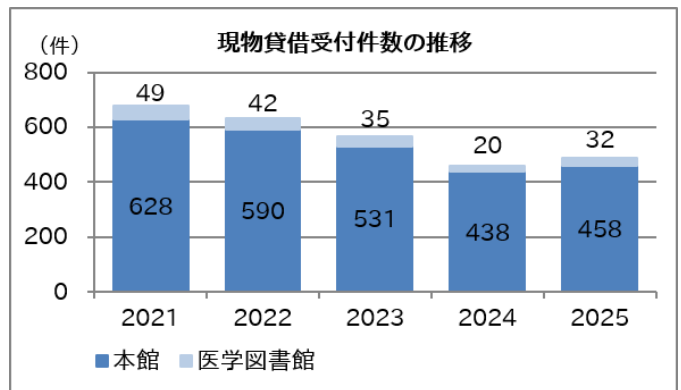
■文献複写件数

		2021	2022	2023	2024	2025
本館	受付	942	853	817	520	544
	依頼	1,532	1,422	990	1,110	873
医学図書館	受付	1,227	790	690	430	505
	依頼	660	793	412	452	301



■現物貸借件数

		2021	2022	2023	2024	2025
本館	受付	628	590	531	438	458
	依頼	643	539	445	430	402
医学図書館	受付	49	42	35	20	32
	依頼	62	27	22	24	28



■県内図書館間の相互貸借

		貸出冊数					借受冊数				
		2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025
本館	島根県立大学（松江）	38	49	38	41	33	14	1	9	7	9
	松江高専	3	5	6	2	0	7	1	1	0	0
	島根県立図書館	49	57	38	41	75	58	47	38	36	33
	県立以外の公共図書館	250	201	193	154	147	63	65	47	56	27
医学図書館	島根県立図書館	18	7	8	2	4	15	12	2	7	13
	県立以外の公共図書館	19	19	12	7	14	38	9	14	5	9
合計		377	338	295	247	273	195	135	111	111	91

統計

■その他

■いこうる（男女共同参画図書コーナー）の貸出回数（本館）

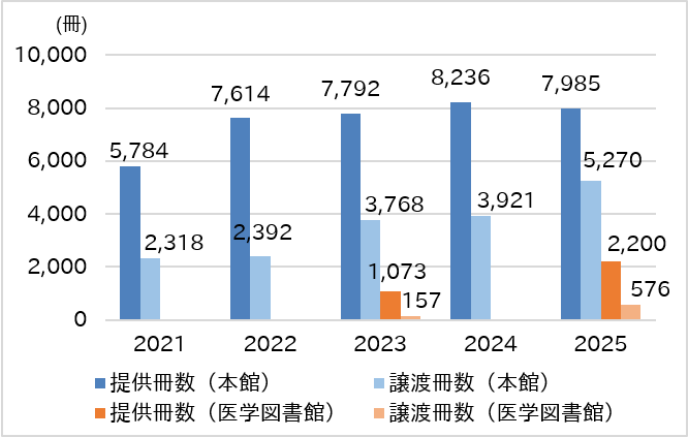
テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
女性史・ジェンダー史、働き方、家事、健康、文化	2025年4月～2025年6月	100	36
エンパワーメント、ケア、メディア、性暴力、絵本	2025年7月～2025年9月	100	26
社会運動、働き方、一人暮らし、伝記（芸術家）	2025年10月～2025年12月	80	16
フェミニズム、雇用平等、少子化・無子化、伝記（社会変革）	2026年1月～2026年3月	80	15
合計		360	93

※ 国立女性教育会館からの団体貸出

■松江市立図書館移動図書館の利用状況（本館）

巡回日	新規登録者数	貸出者数	貸出冊数
2025年 4月30日（水）	19	24	63
5月29日（木）	8	18	54
6月30日（月）	5	15	38
9月29日（月）	1	6	28
10月29日（水）	3	14	51
合計	36	77	234

■廃棄予定図書の無償提供会



■図書館見学・ツアー（本館）

実施日	参加者	人数
2025年6月13日	島根県立浜田水産高等学校	14
2025年7月10日	松江市立川津小学校（特別支援学級）	21
2025年7月10日	香川県PTA連合会	62
2025年7月10日	高知商業高等学校	8
2025年7月25日	翔英学園米子北斗中学校・高等学校（中学生）	29
2025年8月4日	島根大学科学の宝船GSC	10
2025年8月27日	トライ式高等学院	9
2025年9月1日	島根大学インターンシップ学生	9
2025年9月8日	学校法人松徳学院中学高等学校（高校生）	11
2025年9月11日	山陰の各高等学校	126
2025年9月12日	山陰の各高等学校	162
2025年9月16日	山陰の各高等学校	124
2025年9月18日	島根県立浜田水産高等学校（2年）	22
2025年9月25日	鳥取県立倉吉東高等学校（2年）	5
2025年10月3日	邑南町立矢上小学校（6年）	29
2025年10月7日	島根県立松江農林高等学校	28
2025年10月10日	ESS部同窓会	19
2025年10月15日	シンチレータ研究会（SMART2025）	24
2025年10月16日	島根県立江津高等学校	34
2025年10月17日	島根県立江津高等学校	35
2025年10月21日	島根県立島根中央高等学校（2年）	40
2025年11月13日	島根大学法文学部東海地方同窓生	13
2025年11月19日	障がい者雇用にかかる職場見学会	51
2025年12月2日	五千石公民館	14
2025年12月10日	松江市立川津小学校（2年）	15

統計

■ブックコンパス（おすすめ図書の紹介企画）

■ブックコンパス（本館）

展示タイトル	展示期間	展示冊数	貸出回数
新入生の君へ	2025年4月1日～2025年4月30日	22	24
立ち止まって考えるー被害者にも加害者にもならないためにー	2025年5月1日～2025年5月29日	21	20
本を通じて世界を知る	2025年6月2日～2025年6月30日	23	15
夏を感じる・涼を感じる	2025年7月1日～2025年7月16日	22	14
戦争と平和を考える	2025年7月17日～2025年9月8日	23	5
手紙ー書き綴られたものは・・・	2025年10月3日～2025年11月2日	23	8
ヘルンの100冊	2025年10月7日～2026年2月27日	99	63
書く、伝える	2025年11月5日～2026年12月14日	25	25
水俣ーMINAMATAー	2025年12月15日～2026年1月14日	23	10
災害を知る・災害に備える	2026年1月15日～2026年3月23日	24	22
島根ゆかりの作家：100冊	2026年3月2日～2026年6月26日	68	23
新入生の君へ	2026年3月24日～2026年5月6日	23	39
合計		396	268

■ブックコンパス（医学図書館）

展示タイトル	展示期間	展示冊数	貸出回数
医学図書館の「かわいい」本。	2025年4月2日～2025年5月8日	15	20
キリスト教と社会	2025年5月9日～2025年6月8日	16	7
貸出回数0～あなたが読むのを待っている～	2025年6月11日～2025年7月8日	14	9
トランプ大統領と揺れ動く社会	2025年7月9日～2025年8月7日	15	13
人を変えた植物 人が変えた植物	2025年8月12日～2025年10月8日	16	9
ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）関連図書	2025年10月3日～2026年5月13日	22	17
明治～ばけの時代～	2025年10月9日～2025年11月13日	16	6
学者	2025年11月14日～2025年12月15日	15	20
小説～年の瀬のお供に～	2025年12月16日～2026年1月18日	15	26
なぜ？どうして？【社会】編	2026年1月19日～2026年2月15日	16	10
趣味	2026年2月16日～2026年3月16日	17	10
自分と向き合う	2026年3月17日～2026年4月15日	16	16
合計		193	163

■電子書籍deブックコンパス（医学図書館）

展示タイトル	展示期間	紹介冊数
大学生になったら	2025年4月1日～2025年4月30日	10
WY：看護学～5/12は看護の日～	2025年5月1日～2025年6月1日	10
こどもの心理	2025年6月2日～2025年6月30日	8
マンガでわかる本	2025年7月1日～2025年7月31日	8
植物のひみつ	2025年8月1日～2025年8月31日	8
WT：老年医学	2025年9月1日～2025年9月30日	10
日本語と外国語	2025年10月1日～2025年11月3日	8
睡眠と栄養・運動して日々を元気に過ごそう	2025年11月4日～2025年12月1日	10
人体の不思議	2025年12月1日～2026年1月4日	8
日本・世界の童話	2026年1月5日～2026年2月1日	8
発達障害を考えよう	2026年2月2日～2026年3月2日	8
W18：論文を「読む」「書く」	2026年3月2日～2026年3月31日	10
合計		106

※ おすすめの電子ブックをポスター（QRコード付き）で紹介

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
2025年4月1日	コンシェルジュ	本館	「図書館クエスト」を開催（～5/31）
4月2日	展示	本館	企画展示「島根大学『松江キャンパス』ができるまで」を開催（～4/29）
4月8日	イベント	本館	島根大学写真部と美術部による新歓展「春風展」を開催（～4/29）
4月30日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
5月2日	展示	本館	企画展示「命の絆展～被害者も加害者も出さないまちづくり～」を開催（～5/29）
5月29日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
6月3日	展示	本館	企画展示「ハンセン病問題について正しく知ろうーハンセン病の隔離の歴史と人権を学ぶー」を開催（～6/26）
6月23日	会議等	共通	令和7年度 第1回 附属図書館運営会議
6月23日	会議等	本館	令和7年度 第1回 附属図書館本館運営会議
6月30日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催（～7/3）
6月30日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
7月1日	イベント	本館	島根大学写真部による「涼風展」を開催（～7/25）
7月8日	展示	本館	企画展示「戦争と平和を考える2025～戦争体験を語り継ぐモノたち～」を開催（～9/25）
7月30日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
7月31日	会議等	医学図書館	令和7年度 第1回 附属図書館医学図書館運営会議
8月8日	その他	本館	夏季休業期間中の節電対策（～9/24）
8月5日	コンシェルジュ	本館	「図書館ラリー」等のオープンキャンパス企画を実施（～8/7）
8月19日	その他	医学図書館	医学図書館蔵書点検（～8/21）
8月28日	その他	共通	附属図書館年報2024を発行
9月1日	その他	本館	本館蔵書点検（～9/5）
9月1日	その他	共通	全国文化財総覧がLibrary of the Year 2025 優秀賞を受賞
9月8日	その他	医学図書館	照明設備のLED改修工事（～10/17）
9月10日	地域貢献	医学図書館	中学生の職場体験（～9/12、出雲市立第二中学校：2名）
9月17日	地域貢献	医学図書館	中学生の職場体験（～9/19、出雲市立浜山中学校：2名）
9月24日	会議等	共通	令和7年度 第2回 附属図書館運営会議（～10/14、メール審議）
9月29日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
10月8日	会議等	共通	令和7年度 第3回 附属図書館運営会議（～10/14、メール審議）

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
10月12日	展示	共通	デジタル展示「ヘルンの心～西田千太郎への手紙～」を公開（ジャパンサーチ）
10月15日	展示	本館	企画展示「手紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と地域の人びとー」を開催（～12/1）
10月15日	地域貢献	医学図書館	中学生の職場体験（～10/17、出雲市立第三中学校：1名）
10月29日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
11月10日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供を開催（～11/30）
11月21日	コンシェルジュ	本館	交流ブックノートを設置
11月28日	会議等	共通	令和7年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議を開催
12月2日	イベント	医学図書館	廃棄予定図書の無償提供会を開催（～12/4）
12月9日	会議等	共通	令和7年度 第4回 附属図書館運営会議（～12/16、メール審議）
12月11日	コンシェルジュ	本館	「島根大学附属図書館謎解きラリー 図書館の扉」を開催（～1/30）
12月15日	展示	本館	企画展示「水俣病公式確認から70年を考える」を開催（～1/15）
2026年1月6日	その他	共通	島根県東部を震源とする地震による臨時休館（～1/7）
1月20日	展示	本館	企画展示「中国四国の国立公園展～アクティブレンジャーが伝える自然と活動～」を開催（～2/19）
1月26日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供を開催（～2/1）
1月26日	その他	本館	春季休業期間中の節電対策（～3/25）
2月25日	会議等	本館	令和7年度 第2回 附属図書館本館運営会議（～3/4、メール審議）
3月6日	展示	本館	企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」を開催（～4/26）

その他の記録

■報道

事項	掲載紙・放送局等（年/月/日）
企画展示「ハンセン病問題について正しく知ろうーハンセン病の隔離の歴史と人権を学ぶー」	山陰中央新報（2025/6/5） 読売新聞（2025/6/12）
企画展示「戦争と平和を考える2025～戦争体験を語り継ぐモノたち～」	山陰中央新報（2025/7/8、Webにも掲載） NHK（2025/7/9、Webにも掲載） TSK（2025/7/9、Webにも掲載）
企画展示「手紙がつなぐ記憶とまなざしーラフカディオ・ハーン(小泉八雲)と地域の人びとー」	カレントアウェアネス-R（2025/10/9） NHK（2025/10/15、Webにも掲載） TSK（2025/10/31、Webにも掲載） 山陰中央新報（2025/11/13、Webにも掲載） 文教ニュース（2026/1/19）
企画展示「水俣病公式確認から70年を考える」	NHK（2025/12/23、Webにも掲載）
企画展示「中国四国の国立公園展～アクティブ・レンジャーが伝える自然と活動～」	山陰ケーブルビジョン（2026/1/22） 山陰中央新報（2026/2/17）
企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」	山陰中央新報（2026/3/30、2026/4/25） 山陰ケーブルビジョン（2026/4/17）

その他の記録

■講師等

年月日	氏名	発表タイトル等	研修会名等（会場）
2025年9月9日	赤木 智香	「大学図書館の学修支援」	第11回 中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員 フレッシュパーソンセミナー （主催：中国四国地区大学図書館協議会、国立大学 図書館協会中国四国地区協会、国立大学図書館協会 九州地区協会） ※オンライン開催
2025年10月15日	矢田 貴史	「報告書電子化・遺跡抄録登録 の実務に関わる説明」等	報告書データベース作成に関する説明会（松山市） （主催：奈良文化財研究所）
2025年10月17日	青柳 和仁	「島大図のDXアラカルト」	第66回中国四国地区大学図書館研究集会 （主催：中国四国地区大学図書館協議会） ※オンライン開催
2025年12月10日	佐藤 陽子	トークテーマ：図書館員に必要な スキルとは？スキルアップを 阻む「壁」の正体を探る人材育 成に関するコミュニケーション	育成アイデア交換所開設記念イベント「人とスキルの リアルを語る：日常の困りごとと一緒に考えよう」 （主催：これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局） ※オンライン開催
2026年2月17日	佐藤 陽子	「多言語目録業務に関するアン ケート調査結果」	第1回 多言語目録勉強会 ―この素晴らしき目録に賞賛 を：NACSIS-CATの多言語目録― （主催：これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局） ※オンライン開催

その他の記録

■展示貸出の実績

会期	展示名	資料名	資料番号
2025年8月2日（土） ～9月27日（土）	島根大学総合博物館アシカル 企画展 「戦後80年、島根の戦争の記憶」	松高校友會々報 第11号	6097384
2025年8月23日（土） ～11月3日（月）	出雲文化伝承館「没後70年 竹田霞村展」	竹田霞村畫伯作品展觀目錄	2156510
2025年10月10日（金） ～12月7日（日）	松江市立松江歴史館 特別展「慶長の 城－松江城築城とその時代－」	堀尾期松江城下町絵図	1374132
2025年12月2日（火） ～2026年2月23日（月）	熊本市立熊本博物館 冬期特別展「八雲 とセツ 家族の物語」	小泉八雲自筆書簡：45通 10巻	2228995
		小泉八雲自筆書簡：45通 22巻	2229007
		小泉八雲自筆書簡：45通 23巻	2229008
		小泉八雲自筆書簡：45通 29巻	2229014
		小泉八雲自筆書簡：45通 30巻	2229015
		小泉八雲自筆書簡：45通 33巻	2229018
2025年12月26日（金） ～2026年3月29日（日）	松江市立松江歴史館 企画展「連続テレ ビ小説『ばけばけ』の世界と小泉セツと 八雲の時代」	島根縣第一回年報	0071951

本館 Main Library in Matsue

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089

竣工：1978(昭和53)年1月17日

増築竣工：1984(昭和59)年12月25日

耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日

構造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層

面積：6,826㎡

席数：535席



医学図書館 Medical Library in Izumo

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095

竣工：1979(昭和54)年3月19日

耐震改修：2007(平成19)年12月20日

構造：鉄筋コンクリート造3階建

面積：1,819㎡

席数：172席



